



# DIPLOMA 2022

卒業作品集・活動報告



# DIPLOMA 2022

卒業作品集・活動報告

## CONTENTS 目次

### ご挨拶

- |    |  |
|----|--|
| 01 | 全国専門学校建築教育連絡協議会会長 松田正之<br>全国専門学校建築教育連絡協議会 役員一覧 |
|----|--|

### 活動報告

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 02 | 2022年度(令和4年度) 定例総会         |
| 03 | POSTER CONTEST             |
| 04 | 第22回 卒業作品展示会・秋季研修会(教育活動報告) |

### 卒業作品

- |    |                 |
|----|-----------------|
| 05 | 筑波研究学園専門学校      |
| 06 | 中央工学校           |
| 07 | 青山製図専門学校        |
| 08 | 読売理工医療福祉専門学校    |
| 09 | 専門学校東京テクニカルカレッジ |
| 10 | 町田デザイン&建築専門学校   |
| 11 | 日本工学院専門学校       |
| 12 | 日本工学院八王子専門学校    |
| 13 | 浅野工学専門学校        |
| 14 | 新潟工科専門学校        |
| 15 | 東海工業専門学校金山校     |
| 16 | 大阪工業技術専門学校      |
| 17 | 修成建設専門学校        |
| 18 | 中央工学校OSAKA      |
| 19 | 麻生建築&デザイン専門学校   |

### 会員校 / 協賛企業・団体

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 20 | 全国専門学校建築教育連絡協議会 会員校 |
| 21 | 協賛企業・団体             |







全国専門学校建築教育連絡協議会  
会長

松田 正之

全国専門学校建築教育連絡協議会は、全国工業専門学校協会の下部組織として平成7年(1995年)に設立されました。工業分野の専門学校のうち、建築系学科を有する専門学校の地位向上、ならびに教育の充実を図り、会員校の連帯と親睦を目的とした協議会です。これまで教育に関する調査・研究や、教員の資質向上のための研修等を行ってまいりましたが、この2年間はコロナ禍により活動が制限され、大変残念な思いがいたしました。

この作品集は、2年ぶりに開催となった第22回専門学校卒業作品展示会に出品された、学生作品をまとめたものであり、当協議会の活動報告書を兼ねています。発行に際しましては、多くの企業・団体様からご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

会員校一同はコロナ禍においても学びを止めず、様々な工夫を凝らした授業を行っています。一日もはやく日常を取り戻し、活発な学習環境のもとで学ぶことができるよう願ってやみません。末筆ではございますが、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

since 1995

## 役員一覧 2022年度(令和4年度)

役職名	氏名	所属
会 長	松田 正之	中央工学校
副会長	堤下 隆司	修成建設専門学校
幹 事 常任幹事	白井 雅哲	専門学校東京テクニカルカレッジ
	平上 秀明	中央工学校OSAKA
	宗林 功	大阪工業技術専門学校
	仁多見 透	新潟工科専門学校
	野村 種明	東海工業専門学校金山校
	清水 憲一	日本工学院八王子専門学校
	原 真佐也	浅野工学専門学校
	今泉 清太	麻生建築&デザイン専門学校
	小川 貴之	読売理工医療福祉専門学校
	原 智樹	筑波研究学園専門学校
	田中 卓	広島工業大学専門学校
	飯田 有登	町田デザイン&建築専門学校
	見邨 佳朗	修成建設専門学校
	宮野 人至	青山製図専門学校
	生川 清孝	中央工学校
	新井 長秀	青山製図専門学校
事務局(会長校)	山野 大星	日本工学院専門学校 / 日本工学院八王子専門学校
	堀口 一秀	中央工学校
監 事		
相談役		



## 2022年度(令和4年度) 定例総会

日時：2022年(令和4年) 6月11日(土) 13:00~17:00

会場：読売理工医療福祉専門学校

参加：参加校 計18校(会場14校・オンライン4校)・委任状9校

- 議案：第1号議案 2021年度(令和3年度)事業報告  
第2号議案 2021年度(令和3年度)決算報告  
第3号議案 2022年度(令和4年度)事業計画(案)  
第4号議案 2022年度(令和4年度)予算(案)  
第5号議案 進級生課題発表会(仮称)(案)

2022年度(令和4年度)定例総会が、6月11日(土)に読売理工医療福祉専門学校で開催されました。オンライン併用で18校が参加し、各議案が審議されています。また、定例総会後に読売理工医療福祉専門学校の、新校舎見学会が実施されました。その後、情報交換を目的とした教育情報交換会を実施し、さらなる親睦及び交流の機会としています。





## ポスターコンテスト

「第22回 専門学校卒業作品展示会」のポスターコンテストに、会員校10校から学生作品81点が提出されました。

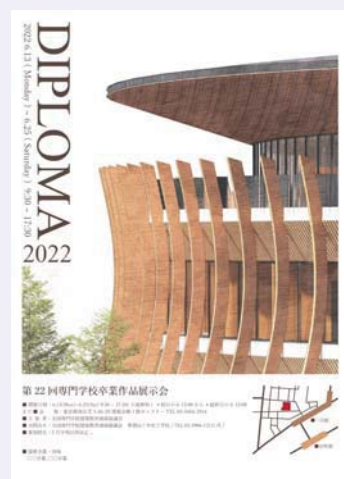
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2021年度(令和3年度)に引き続き、一堂に会しての審査会ではなく、WEBによる投票審査としています。審査は会員校13校の教員33名の投票により行われ、最優秀賞1点・優秀賞3点・入選4点が選出されました。

応募校：日本工学院専門学校、中央工学校、青山製図専門学校、専門学校東京テクニカルカレッジ、日本工学院八王子専門学校、浅野工学専門学校、新潟工科専門学校、東海工業専門学校金山校、修成建設専門学校、中央工学校OSAKA ※応募順

## 最優秀賞

藍詩媛

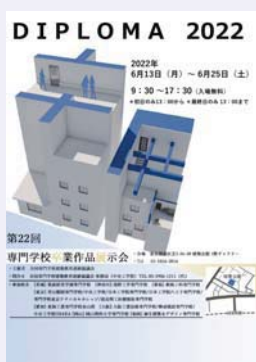
青山製図専門学校



## 優秀賞

[作品左から]

岩堀達矢	中央工学校
郭保宜	中央工学校
高春華	修成建設専門学校



## 入賞

[作品左から]

黒崎恵里香	中央工学校
水野日陽	中央工学校
森泰高	日本工学院専門学校
村松陸	日本工学院八王子専門学校

# 第22回 専門学校卒業作品展示会・秋季研修会



## 第22回 専門学校卒業作品展示会

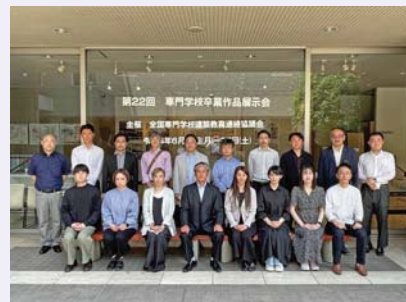
第22回目を迎えた「専門学校卒業作品展示会」は、会員校から15校が参加し作品パネルや模型が展示されました。コロナ禍の影響により、3年振りの開催となりました。ポスターコンテストの入賞作品や、応募作品もパネル展示されています。

日時：2022年(令和4年) 6月13日(月)～6月25日(土)／9:30 - 17:30 (入場無料)

会場：建築会館1階ギャラリー(東京都港区芝5-26-20)

参加：参加校 計15校

筑波研究学園専門学校、中央工学校、青山製図専門学校、読売理工医療福祉専門学校、専門学校東京テクニカルカレッジ、町田デザイン&建築専門学校、日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、浅野工学専門学校、新潟工科専門学校、東海工業専門学校金山校、大阪工業技術専門学校、修成建設専門学校、中央工学校OSAKA、麻生建築&デザイン専門学校 ※卒業作品 掲載順



## 秋季研修会

WEBを活用したオンラインでの情報交換を目的に、教育活動報告会として秋季研修会を実施しました。4校の教員から各校の教育活動について報告がされています。

日時：2021年(令和3年) 11月20日(土) 14:00～16:10

会場：オンライン実施(ZOOM)

参加：参加校 計15校(44名)

報告：①「高校生対象コンペティションについて」

中央工学校 坂下淳一

②「通信教育学科報告」

町田・デザイン専門学校 野沢文男

③「オンライン授業への取り組み」

大阪工業技術専門学校 宗林功

④「プレゼンテーション研究会 ～学部、学科、学年の垣根を越えた自主独立型クラブ活動について～」

青山製図専門学校 宮野人至





Tier Heim ～新しいペットのかたち～

筑波研究学園専門学校 建築環境学科 建築設計デザインコース  
軍司 望由・久保田 貴紀・飯塚 春翔・伊藤 汐里



[設計主旨]

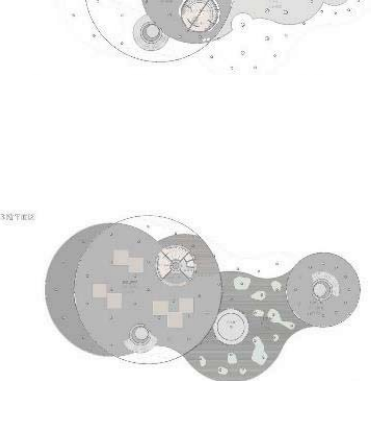
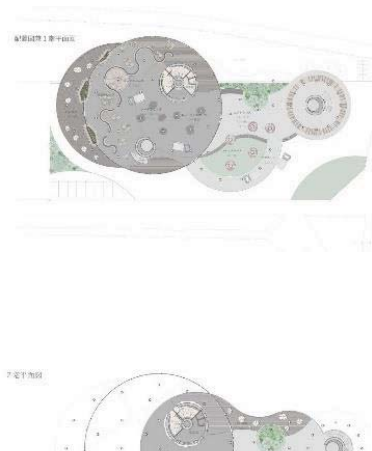
私達は、茨城県が長年全国ワースト1位だったのを回避し、殺処分0を達成したということを知りました。そして調査していく中でボランティア団体が引き取ったこと等により殺処分数が減少したことが背景にあることが分かり、同時に団体が引き取ったことによる負担が増加していることが分かりました。そこからこの負担を減らすべく新たな人に譲渡していく施設を計画をしていきました。その中で、人々の愛護施設の暗いといったイメージを変えるべく円を基調とし、柔らかいイメージ作りに努めました。

また、利用者が保護犬について知れるように触れ合いをメインとしました。そして、犬・猫の居住スペースでは広く空間を作ることで、動物のストレス軽減に努めました。また、エントランスに慰霊ブースを設けることで動物愛護への意識を高める狙いとして計画しました。

[作品・制作データ]

建物用途	動物保護・譲渡施設
敷地所在地	茨城県つくば市稲岡
敷地面積	22,585.21㎡
建築面積	3,275.11㎡
延べ面積	5,044.77㎡
制作期間	6ヶ月
使用ソフト	Jw_cad Vectorworks Photoshop Illustrator





## 【設計主旨】

建設予定地である東京都練馬区氷川台は、東京都が指定する「大規模救出救助活動拠点候補地」に指名されており、大規模な災害の発生後すぐに、広域支援・救助部隊が被災者の救出及び救助を行うため、オープンスペースを大規模救出救助活動拠点としている防災公園である。また、近隣には住宅街が広がっており、小中学校が点在するため、その中心にお年寄りから子供まで、誰もが気軽に防災を学ぶことのできる施設があれば、公園に立ち寄ったついでに、あるいは小中学生達が放課後に遊びに来たついでに防災の意識を高めることができると考える。いつもの何気ない行動の中に「防災」という意識を織り込むことで、もしものときの行動に繋っていくはずである。地域の住民達の憩いの場としてはもちろん、地域の防災拠点として、この施設の存在がこの街の住民達に新しい「防災」への意識のあり方を伝えていく、そんな施設を提案する。

## 【作品・制作データ】

建物用途	防災コミュニティ施設
敷地所在地	東京都練馬区氷川台
敷地面積	4,442.54㎡
建築面積	2,574.56㎡
延べ面積	4,692.21㎡
制作期間	6ヶ月
使用ソフト	Vectorworks Photoshop ArchiCAD Twinmotion



# 街の息づかい ～第三の居場所～

青山製図専門学校 建築学部 建築設計デザイン科

安齋 拓海

## [設計主旨]

本計画敷地は神奈川県横浜市戸塚区戸塚町にある。この場所は駅からほど近い場所に位置する。敷地の周囲は小学校があり、幼稚園や保育園が多く存在している。歴史を遡ると旧東海道の戸塚宿という宿場で栄えた歴史があり、人々が集い賑わう場所となっていた。その時代から続いていた祭りが現在になっても行われている。しかし、現在の戸塚の現状は住宅や商業施設はあるものの、公園や人が集まりコミュニティを図る場所が少なくなっている。ある年、祭りが行われたときには集まる場所が少ないがゆえに、私有地に人が入ってしまう問題が起こり、一度出店が禁止になったこともある。そこで、かつての人が集える場所がある戸塚を思い起こさせるため、「居場所」の設計を行った。ボリュームをずらし、重ねることで生まれる隙間空間に人が集まりコミュニティを形成する。銭湯やワークスペース、共有キッチンなどを設けて、たべる、くつろぐ、つくる、などの行為をちりばめることで居場所の設計を試みた。この建物を通して街の息づかいを感じられる場所になるように課題に取り組みました。

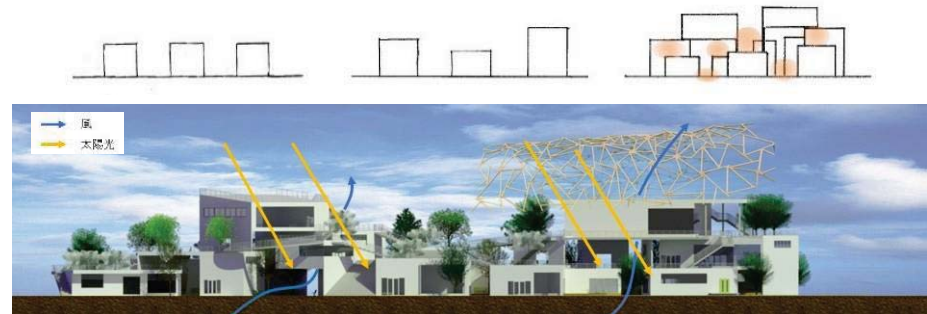
## [作品・制作データ]

建物用途	複合コミュニティ施設
敷地所在地	神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
敷地面積	3,564.14㎡
建築面積	2,745.04㎡
延べ面積	2,856.54㎡

制作期間	4ヶ月
使用ソフト	AutoCAD Photoshop Illustrator Revit



【ダイアグラム・東立面図】複数のボリュームをずらし、重ねることで生まれる隙間に人が集い、風や光が入り込む





# 住む人と集まってきた人の共存する街

読売理工医療福祉専門学校 建築科

小島 由海子



## 【設計主旨】

自由が丘は、交通の便が良く治安も割と良いので、好まれる土地ではありますが、観光地化もしています。人が多いため、休日は駅前が通行止めになるなどの交通規制がされています。また、道路幅も狭いため危険が多くあります。

街づくりとして、健康・安全・コミュニティ・心地良さをテーマに計画しました。安全面からの一つとして、交差する大井町線の踏切を無くし、駅からも来やすくなった計画敷地には、街づくりの一環でテーマにプラスして緑を感じられる場所を計画しました。建物が立ち並んだところから、建物を潜り抜け広がった空間に入り、住んでいる人・移り住んで来た人・休日にショッピングをしに来る人も、こちらで植物と触れ合い、自然を色々な形で体験しながら、くつろいだり、いろんな時間を過ごせるような場所にしました。来訪者が、自然の大切さに気づける場所になれたらいいと思います。

## 【作品・制作データ】

建物用途	複合施設
敷地所在地	東京都目黒区
敷地面積	1,774.75㎡
建築面積	1,356.20㎡
延べ面積	1,027.47㎡

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	ArchiCAD Photoshop Illustrator



# 再生 由緒ある地、八戸の再生——。

## 専門学校東京テクニカルカレッジ 建築科 馬渡 尚子

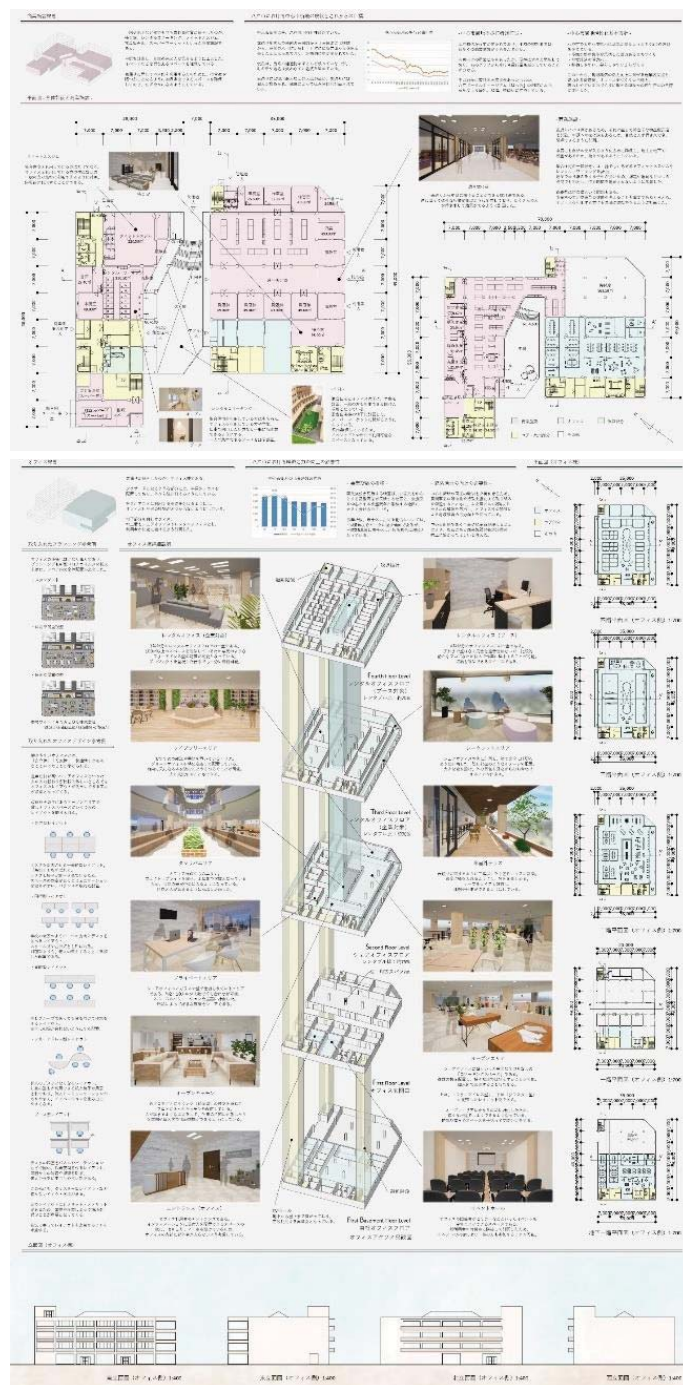
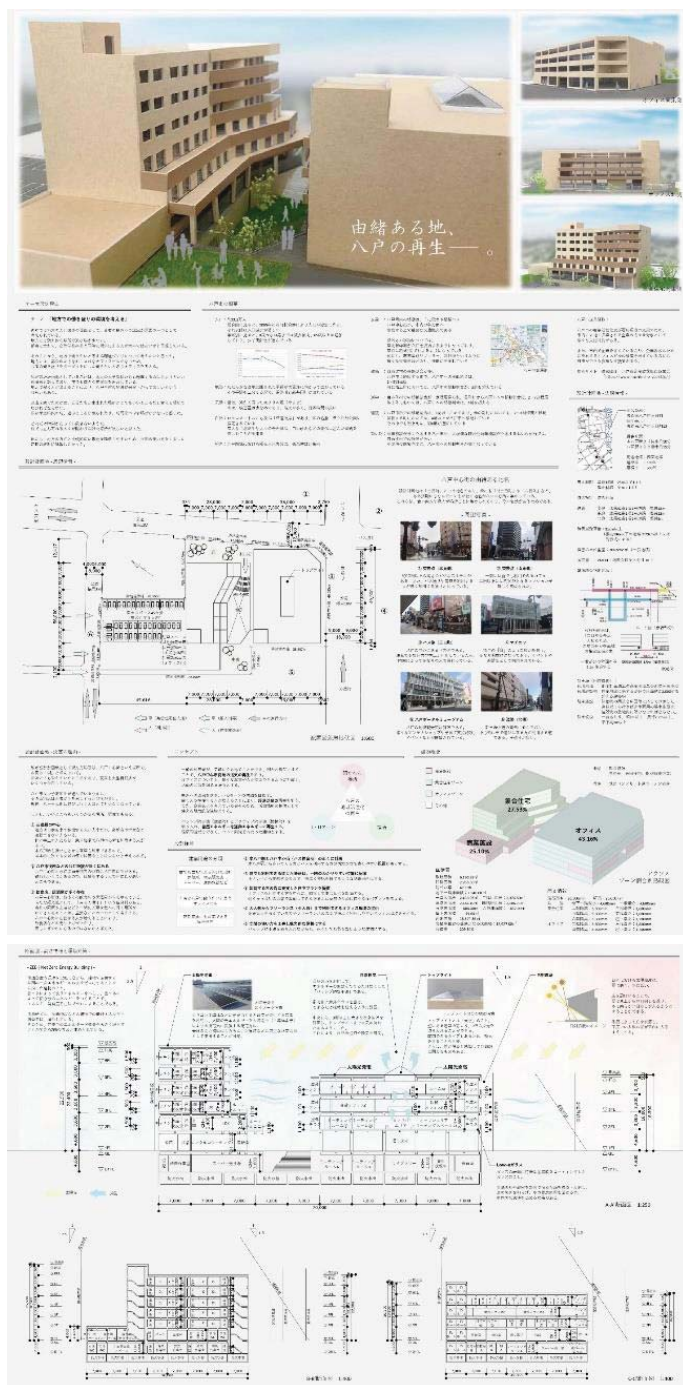
### 〔設計主旨〕

現在青森県でも、若者の県外への流出が大きな問題となっている。官民一体となり多くの施策は取られているが効果は限定的で歯止めが効かない。八戸市は「夏は涼しく、冬も東北地方にしては降雪の少ない」住みやすい地域である。今回計画地に選んだ場所は、市の中心地であり、昔はとても栄えていた。「交通網の中心、公共施設が密集、飲食店、居酒屋も多く、周辺へ遊びに出かけるのに足を運びやすい」など立地としてはとても恵まれている。しかし、若者の足が向かない地域となっている。そこで「地方での働き盛りの環境を考える」をテーマに、若者が魅力を感じるオフィスや商業施設、住居部を兼ね備え、若者が留まる場所を建築的に提供することで「八戸中心市街地の経済活動の再生・活気の再生」を目指した。建物には「自然エネルギーを活動エネルギーに再生すること」を取り入れ、長期間に渡り幅広い年代に利用されるように、多種多様な働き方・個々の生活スタイルを内包できる多彩な提案とした。

### 〔作品・制作データ〕

建物用途	オフィスビル兼集合住宅
敷地所在地	青森県八戸市三日町
敷地面積	6,160.93㎡
建築面積	2,950.50㎡
延べ面積	13,374.36㎡

制作期間	4ヶ月
使用ソフト	AutoCAD SketchUp Twinmotion GIMP layout

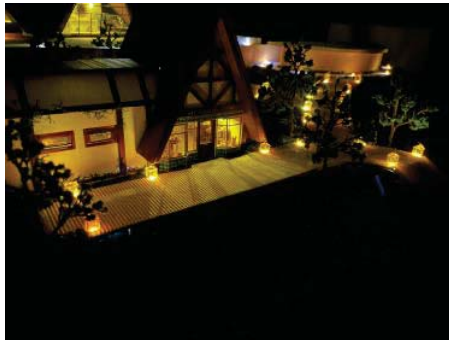
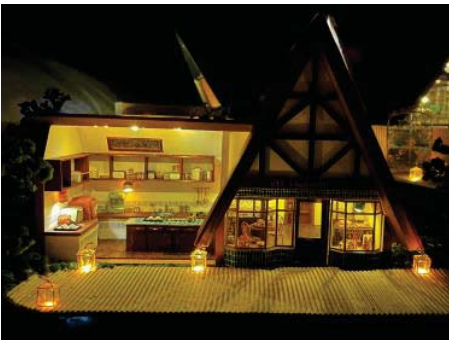




# 癖 ～偏ったくせの魅力～

町田デザイン&建築専門学校 インテリアデザイン学科

中光 彩来



## 【設計主旨】

家を設計するにあたって自分のよくやってしまうデザインについて考えました。そしてそのよくしてしまうデザインをもっと鋭くして癖を前面にだして癖の塊の作品を作りました。奥のお屋敷はダークでグレーや深緑をたくさん使っていて、手前は暖かみのあるデザインでブルーのタイルとピンクの食器で可愛い感じに仕上げました。その二つの建物をつなぐ道はランタンで照らし模型を作るときに光が強くなりすぎないように工夫しました。でもこの作品での一番の癖は模型に一番力を入れているところです。

## 【作品・制作データ】

建物用途	複合施設
敷地所在地	長野県小諸市
敷地面積	4,055.47㎡
建築面積	345.91㎡
延べ面積	553.47㎡

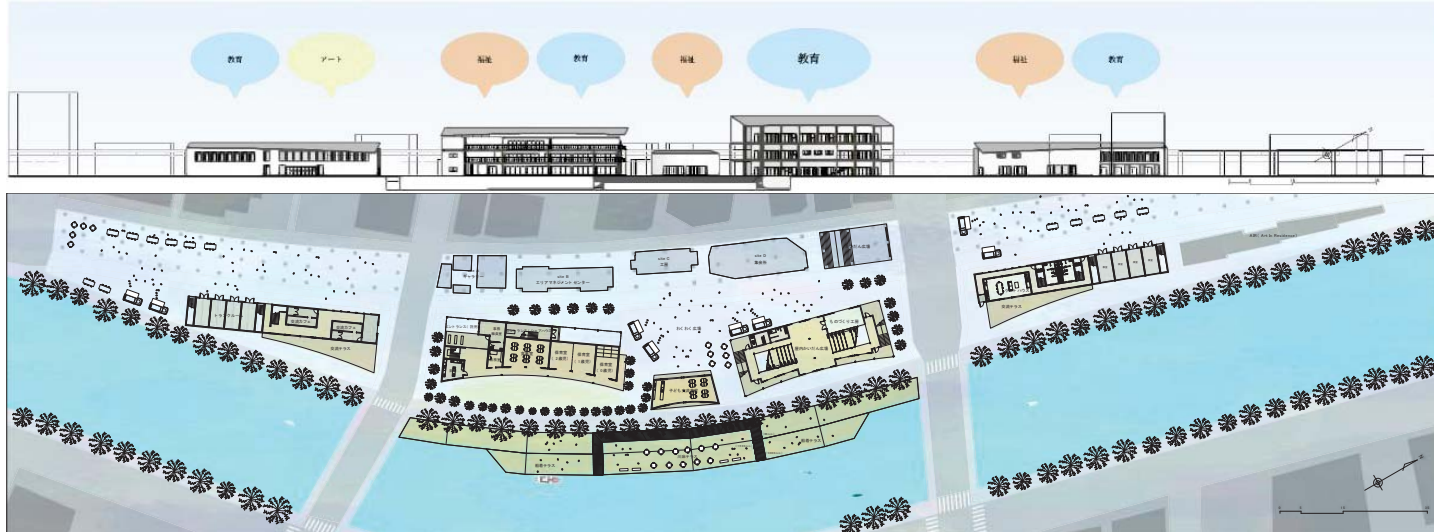
制作期間	6ヶ月
使用ソフト	Jw_cad Photoshop



# つながりで残す「これまで」、創る「これから」

日本工学院専門学校 テクノロジーカレッジ 建築学科

藤田 諒



## 【設計主旨】

人々から「闇の町」と呼ばれてきた黄金町の歴史的背景を教訓に、現在も問題視されている貧困の連鎖を教育の力で食い止めたいと考えた。そこで本設計では、地域住民と片親世帯、外国籍住民との教育的繋がり創造を提案する。この町に存在する様々な課題の中から、ひとり親家庭の経済格差や学校以外での学習環境の少なさに着目して計画を進めることにした。これらの事前調査を基に、黄金町の街づくりをしているNPO法人（黄金町エリアマネジメントセンター）の方々の元へ足を運び、この町のニーズや今後の課題点をヒアリングした。その結果、事前調査で自分が考えていた課題に加え、次の世代に受け継がれる空間が必要なことや、黄金町で起きていた負の歴史を忘れないための何かがあると良いことが明らかとなった。これらの課題点から、教育を主軸とした地域の福祉施設を提案した。

## 【作品・制作データ】

建物用途	教育的福祉施設
敷地所在地	横浜市中区
敷地面積	5,398.82㎡
建築面積	1,844.46㎡
延べ面積	3,677.74㎡
制作期間	6ヶ月
使用ソフト	Vectorworks SketchUp Photoshop Illustrator



# 雪橇の道 ～忘れ去られたボブスレー競技場の再考～

日本工学院八王子専門学校   テクノロジーカレッジ   建築学科  
村松 陸



## 【設計主旨】

1998年。地元長野市を中心とした地域で第18回冬季オリンピックが開催され、そのレガシーとして多くの都市インフラがつくられた。一方でこのボブスレー競技施設（通称スパイラル）は競技人口減少などの理由で大きな財政負担となっている。

開催された年に生まれた私たちには体験できなかった当時の熱狂にあこがれを抱くのと同時に、その外部にいる私たち世代が使われなくなった施設の維持費を負担していることに対して抱いた何とも言えない感情をきっかけに、オリンピックの負の遺産にどのように向き合っていくのかを考えた。

本設計ではオリンピックの商業化・メディア化によってスパイラルが忘れ去られた空虚なものになっていることに着目。ものを凝視する受動的な立場にするのではなく、個人の行動が行われる場を再生するためボブスレーコースを遺構として残し、そこに付随する滞在空間を設計する。

## 【作品・制作データ】

建物用途	ケアパーク
敷地所在地	長野県長野市
敷地面積	約18万㎡
建築面積	—
延べ面積	—
制作期間	約6ヶ月
使用ソフト	Vectorworks   Photoshop Illustrator   Lumion



## 浅野工学専門学校 建築デザイン科 谷米 匠太

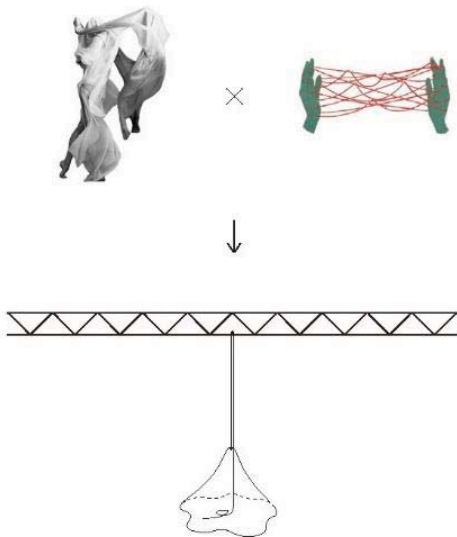
### 1. きっかけ

空にははっきりとしたスケール、形、概念が定まっていない。  
そんな空のような、形もスケールも概念も曖昧で、使われ方や  
形態によって名称までも変化するような建築を考えた。



### 2. エレメント

空気を可視化するメディアのようなテキストイルと、  
それを建築の強度に引き上げるアダプターのような糸を用いて、  
自由自在に空間を作ることができる単純な建築装置を考えた。



### 3. コラージュ

観測点の違いや、物やコトとの相互関係の変化によって様々変化する空の性質をヒントに、  
観測点や環境、モノ、人、活動との異なる断片的なテキストイルのイメージを、40のシーン  
として考え、それぞれのシーンが成立するような全体のイメージを膨らませていった。



### 4. 建ち方

ストラクチャーとテキストイルが互いにせめぎ合い、ウチントが同時に  
存在している曖昧な空間が広がる、空のようなニュアンスの建築が完成した。

最後にこの建築の建ち方を考えた。建築は本来敷地という固定的なロケーションが  
存在する。しかし、空にはロケーションは存在せず地球全体を漂い、全ての場所に存在している。  
今回は、建築自身を都市、熱帯、砂漠、海岸、南極の5つのロケーションにコラージュし、  
それぞれの場所での用途、見え方の変化を考えることで、空のような変化する様子を建築的に表現した。

## 【設計主旨】

青空、雨空、曇り空、夜空、夕焼け空。空は周りの環境の影響を受け、日々刻々と変化し続けている。人は青空をみて清々しくなったり、雨空をみて憂鬱になったり、夜空をみて黄昏たり、空とともに生活や行動、感情も変化する。それはとても豊かで、愛しいものであり、建築もそうあって欲しいという思いが、この提案のきっかけである。建築的な操作としては、単純なテキストイルの建築装置とそれを成立させるストラクチャーを考えただけで、ほとんどディティールは存在しない。環境や人、モノ、活動が主体となって、空間が変化し続ける。それを目指すには、建築は背景としてだけ存在する必要があり、建築自身の形態や色彩、エレメントには意味合いを持たせたくなかったからである。

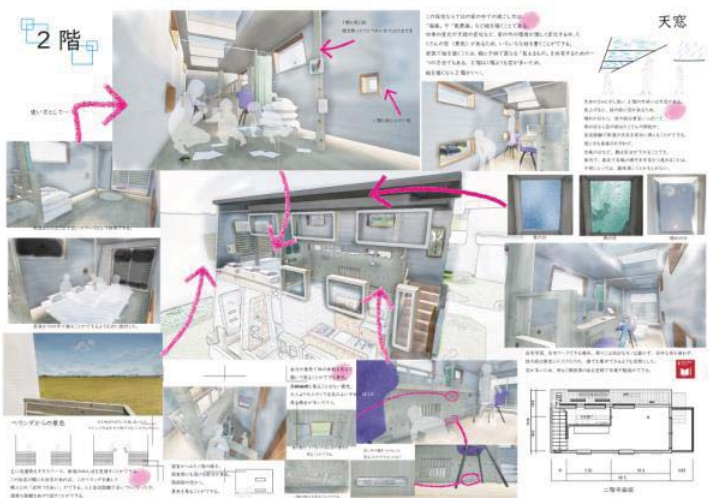
はっきりとした問題定義も批判対象もないまま、自分と建築と空との対話によってドライブしてきたこの提案は、建築の設計というよりは、それぞれとの対話で立ち上がった小説や映画のようなものであると私は考える。

## 【作品・制作データ】

建物用途	Anything
敷地所在地	Anywhere
敷地面積	—
建築面積	10,000.00㎡
延べ面積	10,000.00㎡
制作期間	6ヶ月
使用ソフト	Jw_cad SketchUp Illustrator Photoshop



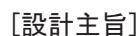
新潟工科専門学校 建築デザイン科  
本保 卓造



## 14 DIPLOMA 2022



東海工業専門学校金山校 建築工学科 住宅設計コース  
澤井 飛勇



[作品・制作データ]

建物用途	シェアハウス
敷地所在地	福井県上文殊地区
敷地面積	—
建築面積	—
延べ面積	—

---

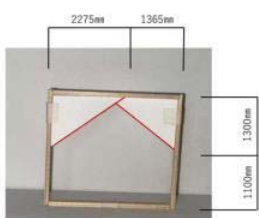
制作期間	5ヶ月
使用ソフト	Jw_cad Illustrator ibisPaint



大阪工業技術専門学校 建築学科 構造設計コース  
矢部 真琴



～包まれる暮らし/tutumaru の提案～  
2階の補強方法は、軽量の膜で補強しており  
場所によってその膜の高さが違い  
白く柔らかな空間に包まれるような  
新しい感覚の暮らしができる  
さらに、交換可能、防災などの点からも  
住宅で用いることが出来る。

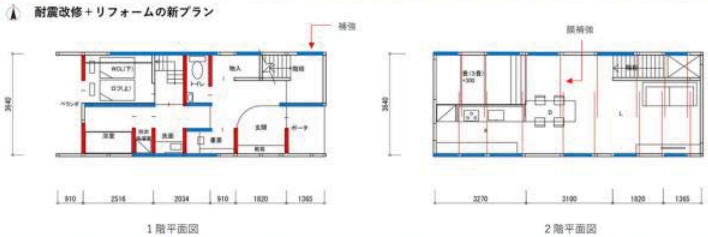


膜構造での検討結果

- 既存の柱に取り付ける方法：木柱（杉材）
- 柱材：105角
- 使用する膜構造：UM-200（平岡織染株式会社）

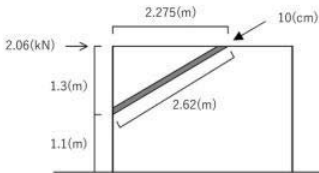
USE C'

P(kN)	X(個)	P/X(kN)	ℓ (m)	x(m)	y(m)	L(m)	T(kN)	有効幅(cm)	膜に作用する力	UM-200の強度	検定比	結果
16.5	8	2.06	1.1	2.275	1.3	2.620	2.38	10.000	238N/cm	654N/cm	0.36	○



→結果、105角の柱材とUM-200の膜材料を用いて、既存の柱に取り付ける方法

P(kN):耐震診断の必要耐力 X(個):フレーム数 P/X(kN):1フレームのP ℓ (m):材材までの距離 b(mm):梁  
h(mm):せい tw(mm):ウェブ厚 tf(mm):フランジ厚 x(m):材材水平長さ y(m):垂直方向の斜材長さ



膜補強後の結果

階	方向	壁の耐力 Qu(kN)	配置低減係数 eKfl	劣化低減 dK	保有する耐力 edQu(kN)	必要耐力 Qr(kN)	評点	判定
2階	X	263.172	1.0000.9091	239.250	16.476	14.521	倒壊しない	
	Y	34.208	1.000	31.098		1.888	倒壊しない	
1階	X	116.292	1.000	105.721	38.032	2.780	倒壊しない	
	Y	56.828	1.000	51.662		1.358	一応倒壊しない	

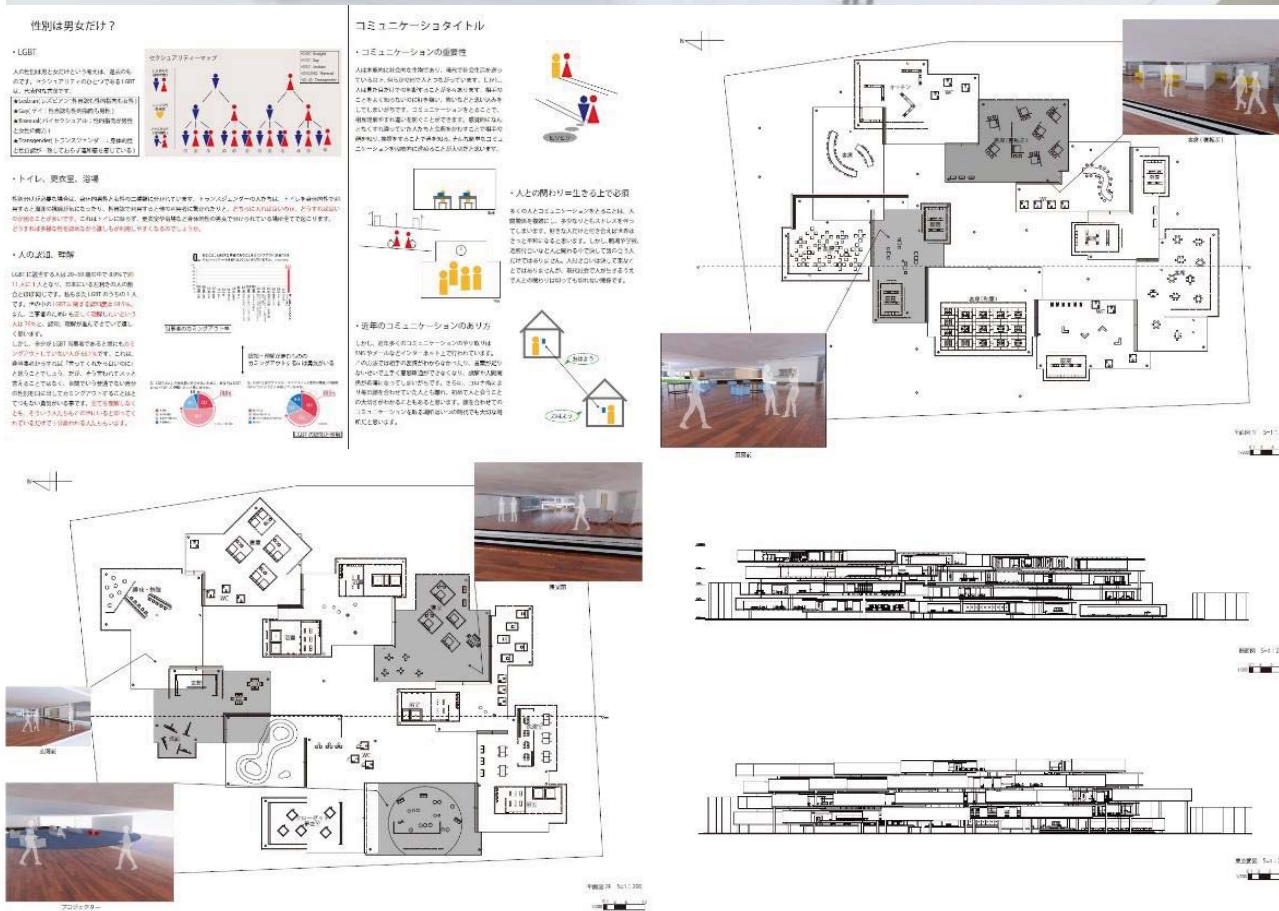
〔設計主旨〕

私の祖父が住んでいた家が今『空き家』状態で、たまに行き荷物を保管している程度で10年以上経つ。築55年ほどの木造二階建てなので普段から家族で災害などで倒壊する不安を抱いていた。耐震診断の評価は悪く、倒壊の恐れがあるということが分かり、自分や家族が住むことを前提に、安心して住めるように耐震改修+リフォームの検討、提案を行いたいと考えた。  
今回は既存の耐震結果の補強案に加え、従来の補強方法とは異なる方法の新しい耐震要素での補強を検討していく。  
住み慣れた土地で、新しい耐震補強方法によるリフォームにより、今までとは違う古き良き日本の住宅として可能性を広げたい。また、受け継がれてきた空き家や古民家の価値を再考し、地域経済や観光にも良い影響を与えられるような活用方法を提案する。

〔作品・制作データ〕

建物用途	住宅
敷地所在地	大阪府大阪市
敷地面積	42.10㎡
建築面積	34.78㎡
延べ面積	64.59㎡
制作期間	5ヶ月
使用ソフト	ArchiCAD Jw_cad Microsoft Excel/Word/PPT





私は「人対人」をテーマに、この卒業設計に取り組みました。私は、世間一般でいう“普通”の人ではなく、普通の人が受けることのない言葉の苦味や痛みと共に生きてきました。普通とは何なのでしょう。私から見ればトランスジェンダーはごく普通のこと、何も悪いことも間違っていることだとは思いません。普通とは人それぞれが思う、価値観であると思います。しかし、自分の普通を人に押し付けるだけではこれまでに変わりません。私の普通と他人の普通は違うからこそ、分かち合い生きていくことが必要だと思います。自分だけの普通を持ちながら、相手の普通をも認め合えば性別など関係なく生きていけるのではないかと考えます。

人と接する時、男性か女性かという見方を捨て、1 人の人として接し認め合えば差別もなく「普通じゃない」とも言われないと思います。この卒業設計で、様々な人がこの世の中にはいるのだと知って貰えたら嬉しいです。

一人一人違うからこそ人生は興味深い。常識よりも非常識を。一度きりの人生、自分にとって最高の人生になりますように。

建物用途	集合住宅
敷地所在地	大阪市住之江区柴谷1丁目1-38
敷地面積	11,477.27㎡
建築面積	6,542.55㎡
延べ面積	20,205.68㎡

---

制作期間	7ヶ月
使用ソフト	AutoCAD ArchiCAD Illustrator Photoshop



# りんくう現代美術水族館 ～生物とアートと共に～

中央工学校 O S A K A 建築学科 建築設計コース

山下 航平



## 【設計主旨】

小さい頃から、自然や生物に触れたり、美術館に行って絵画やアート作品、その他音楽や映画を鑑賞したりする事はとても大切な事だと感じている。これから成長していく子ども達にもたくさんのそういった経験をし、そこで見たものや感じた事、その経験をこれからの人生に活かして欲しいと思っている。そして、感性を豊かにし、これまでの固定観念を良い方向に変え、社会全体に影響を与えて、これからの未来を考えていく事が出来る人が出てきて欲しいと思っている。そこで、今回の計画では従来の水族館の様ではなく、展示室全体が海中の様で生物達の住処にアート作品が紛れていたり、デジタルアートを駆使した展示方法をとっている。更に一定の期間で様々な分野のアーティストやクリエイターとコラボで展示をして、美術館の展覧会の様な、いつ訪れても違う雰囲気のアートアクアリウムを体感する事が出来る。

## 【作品・制作データ】

建物用途	水族館(アートアクアリウム)
敷地所在地	大阪府泉佐野市りんくう公園
敷地面積	8,800.60㎡
建築面積	5,293.20㎡
延べ面積	29,663.20㎡

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	ArchiCAD Twinmotion Photoshop Illustrator



# 収穫する都市 - 農業を媒体とした都市型コミュニティ施設 -

麻生建築&デザイン専門学校 建築学科 建築設計コース

中山 翔太

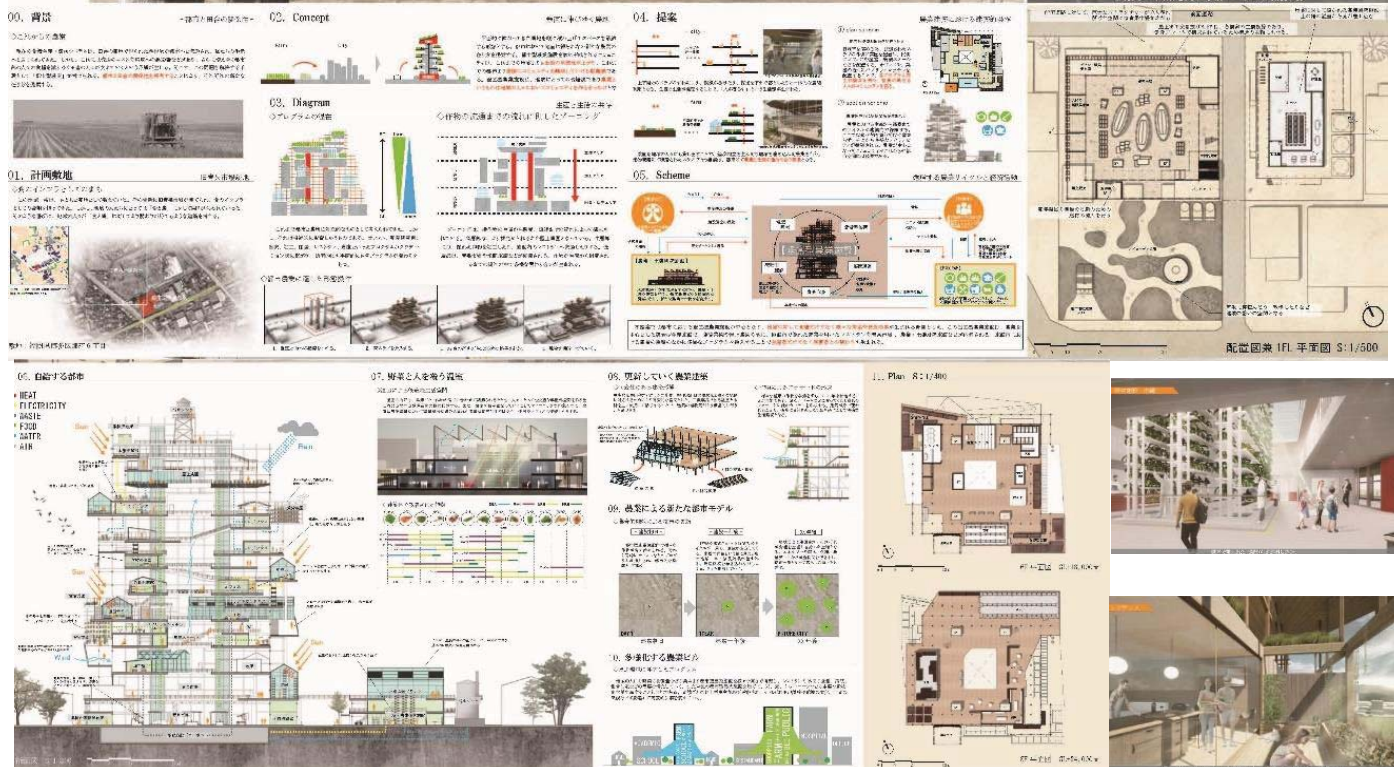
1628

## 収穫する都市

「農業を媒体とした都市型コミュニティ施設」

現在の食糧生産・流通システムは田舎の農地で作られた作物を都市へと流通するものである。しかし、増え続ける都市部の人口を支える為にはその関係性を再考しなければならない。そこで都市における垂直型農業施設を提案する。農家や農産物を生産し、レストランや農産物卸へと流通される。「生産」と「生活」が共存していくことで垂直型農業施設が地域の拠点となってゆく。

平面的に広がっていた農地は、垂直方向に伸びてゆく。



### [設計主旨]

現在の食糧生産・流通システムは田舎の農地で作られた作物を都市へと流通するものである。しかし、増え続ける都市部の人口を支える為にはその関係性を再考しなければならない。そこで都市における垂直型農業施設を提案する。垂直型農業施設を核に形成されるコミュニティは、これまでの地域よりも生活の利便性が高く、これまでの都市より密接にコミュニティを醸成していきける距離感である。オフィス、農業研究所、物流、加工、住居、レストラン、倉庫といったプログラムがグラデーション状に繋がり、断面的にも平面的にも各プログラムが関わりをもつ。「生産」と「生活」が共存していくことで垂直型農業施設が地域の拠点となってゆく。

### [作品・制作データ]

建物用途	複合コミュニティ施設
敷地所在地	福岡県福岡市博多区
敷地面積	7,000.00㎡
建築面積	3,400.00㎡
延べ面積	51,000.00㎡

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	ArchiCAD Rhinoceros Photoshop

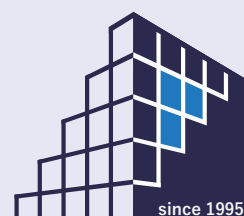


# 全国専門学校建築教育連絡協議会 会員校

学校名	郵便番号	所在地	電話番号
日本工学院北海道専門学校	〒059-8601	北海道登別市札内町184-3	0143-88-0888
国際情報工科大学校	〒963-8811	福島県郡山市方八町2-4-15	024-956-0030
筑波研究学園専門学校	〒300-0811	茨城県土浦市上高津1601	029-822-2452
中央工学校	〒114-8543	東京都北区王子本町1-26-17	03-3906-1211
青山製図専門学校	〒150-0032	東京都渋谷区鶯谷町7-9	03-3462-1441
読売理工医療福祉専門学校	〒112-0002	東京都文京区小石川1-1-1	03-3868-0411
専門学校東京テクニカルカレッジ	〒164-8787	東京都中野区東中野4-2-3	03-3360-8881
東京工学院専門学校	〒184-8543	東京都小金井市前原町5-1-29	042-387-5500
町田デザイン&建築専門学校	〒194-0022	東京都町田市森野1-27-18	042-725-3465
日本工学院専門学校	〒144-8655	東京都大田区西蒲田5-23-22	03-3732-1367
日本工学院八王子専門学校	〒192-0983	東京都八王子市片倉町1404-1	042-637-3179
浅野工学専門学校	〒221-0012	神奈川県横浜市神奈川区子安台1-3-1	045-421-0403
新潟工科専門学校	〒950-0932	新潟県新潟市中央区長潟2-1-4	025-287-3911
伝統文化と環境福祉の専門学校	〒952-1209	新潟県佐渡市千種丙202-1	0259-61-1122
東海工業専門学校金山校	〒460-0022	愛知県名古屋市中区金山2-7-19	052-332-6211
京都建築大学校	〒622-0041	京都府南丹市園部町二本松1-17	0771-63-1120
大阪工業技術専門学校	〒530-0043	大阪府大阪市北区天満1-8-24	06-6352-0091
大阪建設専門学校	〒530-0052	大阪府大阪市北区南扇町3-16	06-6314-0261
修成建設専門学校	〒555-0032	大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30	06-6474-1945
中央工学校OSAKA	〒561-0872	大阪府豊中市寺内1-1-43	06-6866-0800
日本工科大学校	〒672-8001	兵庫県姫路市兼田383-22	079-246-5888
岡山科学技術専門学校	〒700-0032	岡山県岡山市北区昭和町8-10	086-255-7171
岡山理科大学専門学校	〒700-0003	岡山県岡山市北区半田町8-3	086-228-0383
広島工業大学専門学校	〒733-8533	広島県広島市西区福島町2-1-1	082-295-5111
麻生建築&デザイン専門学校	〒812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目11-13	092-415-2292
福岡建設専門学校	〒812-0053	福岡県福岡市東区箱崎6-15-34	092-651-2516
サイ・テク・カレッジ美浜	〒904-0115	沖縄県中頭郡北谷町美浜1-5-16	098-926-1800

企業・団体名	郵便番号	所在地	電話番号
株式会社 イトーキ	〒103-6112	東京都中央区日本橋2-5-1	03-6910-3895
株式会社 今西組	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町6-9-21	06-6779-3361
エーアンドエー株式会社	〒108-0075	東京都港区港南2-13-29 キャノン港南ビル7F	03-6719-7456
関東建設インテリア事業協同組合	〒101-0044	東京都千代田区鍛冶町2-5-16 グランフォークス鍛冶町ビル3F	03-3254-1138
菊池建設株式会社	〒188-0001	東京都西東京市谷戸町3-17-6	042-422-4535
技研施工株式会社	〒107-0062	東京都港区南青山7-3-1	03-3407-2395
工藤建設株式会社	〒225-0003	神奈川県横浜市青葉区新石川四丁目33番地10	045-911-5300
株式会社 国際総合計画	〒950-0916	新潟県新潟市中央区米山2-7-3	025-241-8588
坂田建設株式会社	〒130-8522	東京都墨田区本所3-21-10	03-5610-7810
三友建設株式会社	〒192-0041	東京都八王子市中野上町4丁目39番2号	042-625-7651
清水建設株式会社	〒104-8370	東京都中央区京橋2丁目16-1	03-3561-1111
公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター	〒102-0073	東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル3階	03-3261-4567
公益社団法人 商業施設技術団体連合会	〒108-0014	東京都港区芝5丁目26番20号 建築会館	03-3453-8103
成友興業株式会社	〒197-0802	東京都あきる野市草花1141-1	03-3538-4111
株式会社 総合資格	〒163-0557	東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル22F	03-6304-5595
株式会社 大米建設	〒901-0145	沖縄県那覇市高良3丁目1番地1	098-975-9090
TAC株式会社	〒101-8383	東京都千代田区神田三崎町3-2-18 TAC本社ビル4F	03-5276-8918
TTC株式会社 タケダ事業本部	〒132-0034	東京都江戸川区小松川3-4-1 エクセルビル3F	03-3638-1281
徳倉建設株式会社	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦1丁目18番22号 名古屋ATビル6階	052-211-8735
飛鳥建設株式会社	〒108-0075	東京都港区港南1-8-15 Wビル5F	03-6455-8307
西尾レントオール株式会社	〒542-0083	大阪府大阪市中央区東心斎橋1-11-17	06-6251-0070
株式会社 ニチボウ	〒141-0022	東京都品川区東五反田1-9-5	03-3444-6241
馬淵建設株式会社	〒232-8558	神奈川県横浜市南区花之木町2-26	045-712-4842
武藤工業株式会社	〒154-8560	東京都世田谷区池尻3-1-3	03-6758-7123

五十音順





## 協賛企業・団体

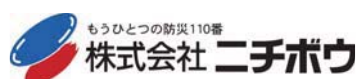
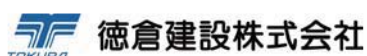
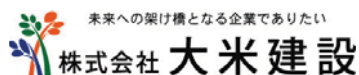


三友建設株式会社



公益財団法人  
住宅リフォーム・紛争処理支援センター

公益社団法人 商業施設技術団体連合会



馬淵建設株式会社



武藤工業株式会社

## DIPLOMA 2022 卒業作品集・活動報告

2022年8月 発行

発行元 全国専門学校建築教育連絡協議会  
<http://zensenkenkyo.jp/>

事務局 中央工学校  
〒114-8543 東京都北区王子本町1-26-17  
TEL 03-3906-1211

